

令和4年度事業報告

当事業団は、廃棄物による環境汚染の防止の支援に取り組むとともに適正な廃棄物処理の促進を図るため、公共関与による廃棄物処理施設として「エコフロンティアかさま」を安全性の確保を最重点に運営管理し、関係法令等を遵守して一般廃棄物及び産業廃棄物の受入れ、適正な処理を行うとともに、廃棄物処理状況等の情報発信、啓発普及に取り組み、県民の快適な生活環境の向上に努めた。

新産業廃棄物最終処分場については、工事着工に向けて各種準備を実施した。

I 実施事業等会計（環境対策等支援事業）

1 事業

（1）茨城県有害廃棄物等撤去基金への寄付

不法投棄された地域の周辺住民の健康被害等を未然に防止するため、茨城県が創設した「茨城県有害廃棄物等撤去基金」に寄付を行った。

II その他会計（廃棄物処理事業）

1 廃棄物処理事業

（1）一般廃棄物処理事業

ア 笠間市（笠間地区内）から収集された家庭から排出される可燃ごみ及び不燃ごみ等の生活系ごみを適正に処理を行った。

イ 最終処分場を持たない市町村及び一部事務組合から発生する焼却灰や不燃残さ等の受入れを行い、自治体が行うごみ処理を支援した。

ウ 国及び地方公共団体が行う施策に協力するとともに、災害、緊急時における廃棄物の受入れを行った。

（2）産業廃棄物処理事業

ア 溶融処理

廃プラスチックや木くず等の可燃物及び医療系廃棄物、廃石綿等などの有害な産業廃棄物を受入れ、溶融して無害化を図った。

県からの要請により、県内各地で発生した鳥インフルエンザ関連の受入れ処理を行った。

イ 埋立処理

燃え殻やがれき類等の産業廃棄物の埋立を行い、適正処理を進めるとともに、県内では受入れが困難となっている石綿管やスレートなどの非飛散性アスベストを含む廃棄物の受入れを行った。

○令和4年度廃棄物受入量

(単位:トン)

処 理 方 法 等			受 入 量
溶 融	一 廃	笠間市	5, 4 2 3
		その他市町村等	2, 6 9 3
	産 廃	一般溶融廃棄物	1 1, 2 5 2
		医療系廃棄物	3 1 8
		廃石綿等	1 4
小 計		1 9, 7 0 0	
埋 立	一 廃	笠間市	0
		その他市町村等	1 2, 8 4 4
	産 廃	一般埋立廃棄物	1 2 8, 9 7 1
		非飛散性アスベスト	8, 8 1 8
小 計		1 5 0, 6 3 3	
合 計			1 7 0, 3 3 3

(3) リサイクル・有効利用の実施

溶融後に発生するスラグは、最終処分場内で保護砂として有効利用し、メタルは金属原料として売却した。

また、溶融処理の際に発生する熱を利用して高効率発電を行い、余剰電力を売電した。

2 廃棄物処理施設運営管理事業

(1) 溶融処理施設、最終処分場及び浸出水処理施設の適正な管理運営を図った。

なお、溶融処理施設の運転管理をJFE環境サービス(株)に、最終処分場の管理を(株)さくらに、浸出水処理施設の運転管理を共和化工(株)にそれぞれ委託した。

(2) 施設運営に伴う生活環境への影響を把握するため、周辺環境モニタリング調査、現況保全地における動植物調査等を実施するなど、良好な環境保全並びに施設等の安全性の確保を図った。

○周辺環境モニタリング調査

大気調査 : 周辺大気 (3箇所・年4回)
連続監視 (2箇所)

騒音・振動調査 : 交通、環境 (3箇所・年4回)、
施設騒音・振動 (6箇所・年1回)

水質調査 : モニタリング井戸 (4箇所・年12回)、
河川水質 (2箇所・年4回)

他に悪臭調査、底質調査、土壌調査等を実施した。

○現況保全地における動植物調査

オゼイトトンボ、ハッチョウトンボ、シラン等の生息・生育状況を調査し、保全環境の整備を図った。

○エコアクション21の取り組み推進

令和3年6月に認証を更新した環境省が推奨する「エコアクション21」の取り組みを推進し、環境負荷の低減を図った。

(3) 環境保全委員会の開催

環境保全委員会を開催し、環境モニタリング結果等の分析評価を行ったほか、現況保全地ワーキンググループを開催し、現況保全地の保全対策などを検討した。

○ 第22回環境保全委員会：令和5年3月5日（日）開催

3 環境関連支援事業

廃棄物有効利用促進事業について募集したところ申請があったため、内容を検討し助成金を交付した。

4 啓発普及事業

エコフロンティアかさまの施設運営推進等に資するため、地域住民向けに啓発普及事業を実施するとともに、排出事業者、視察者などに対しても運営状況等を説明し、廃棄物の適正処理施設としての啓発普及活動を実施した。

また、管理棟2階の環境学習施設（展示コーナー）では、常時見学を受入れ、環境学習全般の啓発普及に努めた。

○見学者実績： 63団体 513名

5 地元相談・調査事業

地区役員、住民に対して、エコフロンティアかさまへの理解を深めるため先進地視察を実施した。

6 地域振興等事業

「エコフロンティアかさま」設置に伴う地域振興及び環境保全等に関する協定書に基づき、笠間市が設置した福田地区地域振興整備基金へ寄付した。

7 情報公開

排ガス、放流水等の計測値を表示板（電光掲示板）に掲示し、住民への情報公開に努めるとともに、ホームページに処理状況等を掲載し、広く情報公開を図った。

8 跡地利用検討事業

溶融処理施設営業終了及び最終処分場埋立終了後の跡地利用のあ

り方について、検討委員会により検討を行った。委託業者による調査の結果、溶融処理施設の利活用について、参画の意向を示す事業者があったことから、関係者の意見を踏まえながら、引き続き検討を行うこととした。

9 全国廃棄物処理公社等連絡協議会

例年、担当主管者会議（7月）、役員会議（11月）が開催されているが、当事業団は「令和4年度第45回全国廃棄物処理公社等連絡協議会」の役員会議担当のため、開催を検討したところ、新型コロナウイルス感染症の情勢に鑑み、会議開催は中止としたが、継続的な会員相互の情報交換は必要な観点から会議資料を取りまとめ、冊子作製等及び会員へ配付を行った。

III その他会計（新産業廃棄物最終処分場整備事業）

1 日立市民等への対応

新産業廃棄物最終処分場の候補地として選定された日立市諏訪町への最終処分場の整備について、日立市民等から理解が得られるよう茨城県とともに説明会を実施した結果、市と県の間で令和4年12月に施設の安全確保や環境保全対策等に係る確認書が締結された。

2 新産業廃棄物最終処分場基本設計の策定支援

県主催による設計コンサルタントとの会議に参加し、新産業廃棄物最終処分場の造成計画や各種施設の規模、構造等に係る基本的事項について検討を重ね、令和5年3月に基本設計の策定に至った。

3 生活環境影響調査等の実施

最終処分場の整備にあたり、廃棄物処理法に基づき生活環境影響調査を行う必要があることから、学識経験者で構成する「生活環境調査委員会」を設置・運営し、同委員会の助言を踏まえて必要な調査等を実施するとともに、周辺環境に及ぼす影響について予測・評価を行った。

○生活環境調査委員会開催結果

①令和4年12月 1日

②令和5年 3月10日

4 新処分場併設環境学習施設基本計画の策定支援

県主催の学識経験者等で構成される「新処分場併設環境学習施設基本計画検討委員会」に事業主体として参画し、整備方針や事業計画など施設整備に係る基本的事項について検討を重ね、令和5年3月に計画策定に至った。

○基本計画策定委員会開催結果

①令和4年 8月19日

②令和4年10月24日

③令和5年1月17日

④令和5年2月21日

IV 法人会計

1 事業

(1) 評議員会

開催日・場所	議題等
令和4年6月23日(木) 於：事業団	評議員・理事・監事の選任、事業報告、事業決算

(2) 理事会

開催日・場所	議題等
令和4年5月25日(水) 於：事業団	事業報告、事業決算
令和5年3月24日(金) 於：事業団	事業計画、収支予算、役員等賠償責任保険契約

2 その他

(1) コンプライアンス委員会の開催

コンプライアンス委員会を開催し、法令等を遵守した廃棄物処理を行っていることを確認したほか、コンプライアンス向上に関する取組状況の確認、コンプライアンス向上のための課題及び今後の取組等について協議した。

○コンプライアンス委員会：令和5年3月24日(金)開催